

江戸時代の子供たちはこのような難文字を読みこなしていた

読み・書き・算盤とは言うが、よくぞ難しい文字を読みこなしていたものと感心する。記事は今日の神戸新聞からであるが、このくずし字は素養がなくては読みこなせない。江戸時代における寺子屋教育はレベルが高かったものと改めて感心する。そして、文字系を見て音に結び付けるパターン認識力は、幼い時の教育がいかに重要であるかを再認識する。

作品 **升色紙**  
神戸新聞  
2019年(平成31年)4月10日

筆者 **伝・藤原行成** (天禄3~天寿4 (972~1027) 年)

古典コーナー

臨書の部課題

紙、継色紙、升色紙です。いずれも古くより伝えられている筆者があります。それぞれ紀貫之、小野道風、藤原行成です。

品で方形の色紙に書かれています。

課題は平安時代の伝られた美しい作品が三つあります。寸松庵色歌人清原深養父の歌集「深養父集」の和歌「中古三十六歌仙」の一人です。清原深養父は「中古三十六歌仙」の一人です。また清少納言の曾祖父になります。

升色紙はもともと冊子本でした。紙の形が升の形に似ていたので升色紙と名づけられました。料紙は馬の毛で白や藍色に雲母を蒔いて穂やかな線です。行を絡ませたり、文字を重ねたりきわめて功妙な手法を用いています。

点が確認されています。

出品作品は、小学生です。はな字、中学生は4字、平安時代の仮名の名蹟之、小野道風、藤原行成です。

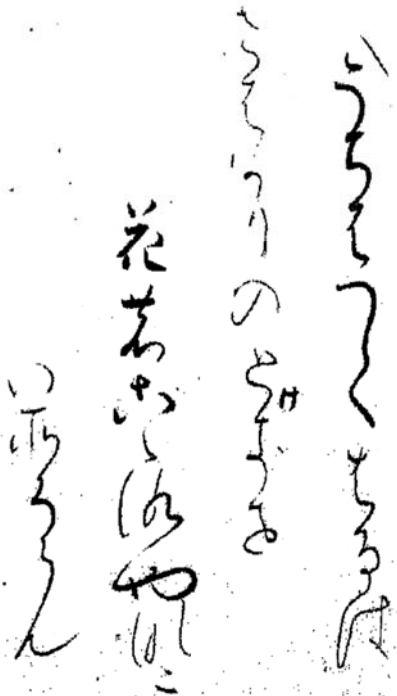
品で方形の色紙に書かれています。

課題は平安時代の伝られた美しい作品が三つあります。寸松庵色歌人清原深養父の歌集「深養父集」の和歌「中古三十六歌仙」の一人です。清原深養父は「中古三十六歌仙」の一人です。また清少納言の曾祖父になります。

升色紙はもともと冊子本でした。紙の形が升の形に似ていたので升色紙と名づけられました。料紙は馬の毛で白や藍色に雲母を蒔いて穂やかな線です。行を絡ませたり、文字を重ねたりきわめて功妙な手法を用いています。

点が確認されています。

### 技法巧妙 優美な仮名

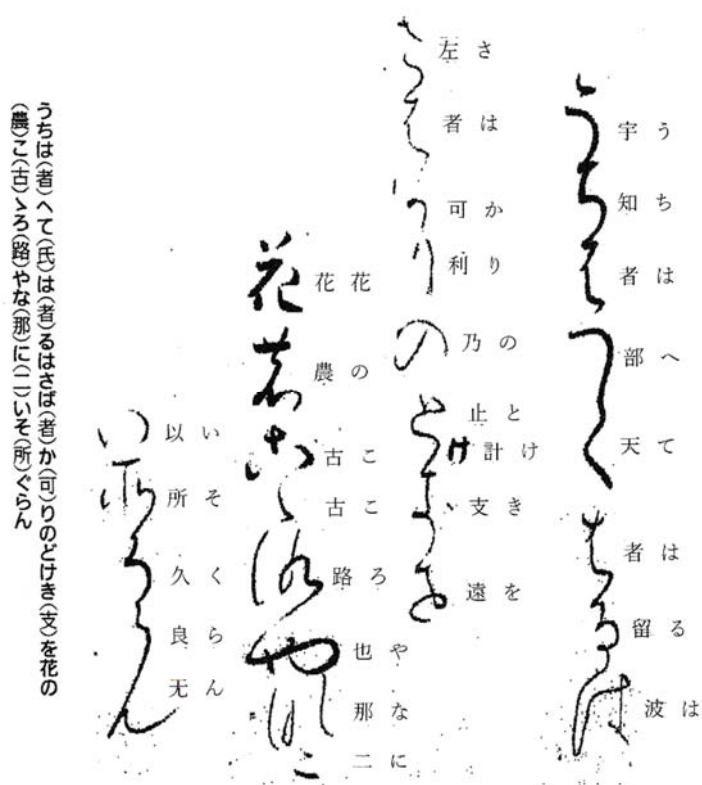


①ふくろうとした書きずり  
②送筆はゆったり落ち着いて筆を運ぶへ  
③終筆に向けて筆圧をかけ余韻をもたせる

古典コーナー作品募集 使用の作品は返却しない  
①対象は小学5、6年生  
②作品発表特選入選、縮め切り、作品送りは先月分と同じの課題は6×8寸角の別紙に学校所在地(市町村)の別紙に学校名、学年、郵便番号、住所、電話番号、本人氏名と保護者名、「古典コーナー」と明記し、作品の裏面、右下隅に貼る  
④1人1点(団体は封筒表に出品数を朱書き)半紙

各種漢字からのくずし字が用いられているが、下のくずし字一覧表にあるように、ひとつの音を表すのに、数種の漢字がその源となっている例が多い。また、一つの漢字からでも複数のくずし字が存在する。実に多くの発音表記を昔の人は自在に使いこなしていたわけである。

くずし字一覧表に基づき、ルビを打ってみた。5文字目の「て」の元漢字は、「氏」ではなくて「天」である。また、写本時に写し忘れがあったためか、2列目の「け(計)」が後から加えられているのは愛嬌である。



### Wikipedia より

藤原 行成(ふじわらの ゆきなり/こうぜい、972-1028)は、平安時代中期の公卿。藤原北家、右少将・藤原義孝の長男。官位は正二位・権大納言。一条朝四納言(「寛弘の四納言」)の一。世尊寺家の祖。

当代の能書家として三蹟の一人に数えられ、その書は後世「権蹟」(ごんせき)と称された。書道世尊寺流の祖。

### 真跡

白氏詩巻 - (国宝) 東京国立博物館蔵

本能寺切 - (国宝) 本能寺蔵

後嵯峨院本白氏詩巻 - (国宝) 正木美術館蔵

敦康親王関係文書 - 三の丸尚蔵館蔵

書状 - (重要文化財) 東京国立博物館蔵 (2016 年度購入)

など。いずれも、漢字体で、仮名は残っていないとされる。



現代は一つの音に一つの仮名が対応している。また、仮名の書き方も統一され、しかも一字々々がつながることなく独立している。時代が仮名を磨き上げ、そして単純化した成果である。

最近はさらに文字を読みやすくしようとする試みがなされている。UD フォントである。UD はユニバーサルデザインのこと。

日本経済新聞 2019年4月10日

### 「誤読少ない」字体 生駒の小中学校導入 正答率向上効果も

教育での活用を見込む。UDフォントは文字の形が分かりやすく誤読が少ないとされる。小学校12校、中学校8校の計20校の教職員のパソコンで同社の教科書体UDフォントを2月末から使えるようにした。全教室に大型モニターを設置済みで、パワーポイントを使った授業も行う予定。同市の小学5年生の児童116人を対象に、「イチゴは黄色い野菜」などの例文の正誤を尋ねる問題を解いてもらったところ、一般的な書体に比べて回答が速くなり、正答率が66%から81%と高くなる結果が出た。

奈良県生駒市は市内の小中学校全校にフォント開発のモリサワ(大阪市)のUD(ユニバーサルデザイン)フォント「写真」を導入した。市と同社が共同実施した小学生対象のテストで正答率が上がる効果が確認され、教材や配布物で使うほか、ICT(情報通信技術)

1 バナナは青色の野  
2 犬には二つの耳

UDフォントは学習障害や発達障害の子供らでも読みやすいことから、養護学校で導入されるケースがある。同社は研究者らの検証は重ねているが、普通学級で効果が確認されたのは初という。同市は「学習意欲や学力の向上が期待できる」(教育指導課)としている。

NEC のホームページより

#### ユニバーサルデザインフォントとは

ユニバーサルデザインの観点「より多くの人々が可能な限り快適に利用できるよう配慮されたデザイン」をもとに、「誰もが見やすい、読みやすい」をコンセプトとして、より美しい文字デザインを追求したフォントです。

- FA UDゴシックR

#### 進化する優美なフォント

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz1234567890

- FA P UDゴシックR

#### 進化する優美なフォント

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz1234567890

- FA UDゴシックM

#### 進化する優美なフォント

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz1234567890

- FA P UDゴシックM

#### 進化する優美なフォント

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz1234567890

- FA UDゴシックB

#### 進化する優美なフォント

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz1234567890